

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 699

1部60円

友の会会員は会費に含まれています

発行 東京勤労者医療会代々木病院

院長 河邊 博正

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7

TEL 03(3404)7661

http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi

2026年
1月号



新年、明けましておめでございます。
昨年「健康まつり」

院長あいさつ

河邊 博正

「健康講座」の開催、地域での「健康チェック」活動など「地域の健康づくり」を大切に、まちづくりの一助となるよう努力してまいりました。一方で、医療機関は全国的に赤字経営を余儀なくされ、医師会をはじめとした病院各団体から「地域医療は崩壊寸前」と警鐘を鳴らし、医療機関への緊急的な財政支援と診療報酬引き上げ改定を求め様々な取り組みを行っています。年頭にあたり、地域医療を守り、安心して住み続けられるまちづくりを目指し、友の会、地域の皆様と一緒に手を携え立ち向かっていくと思います。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



謹賀新年

2026年元旦 代々木病院 職員一同



看護部



リハビリ室



健診課



透析室



栄養課



精神科デイケア



総務課

総務課



患者サポートセンター



訪問リハビリ



訪問診療

千駄の萱

明けましておめでとうございます。ここ数年同じ事を書いているが、相変わらず国内外共に「おめでとー」とは言いがたい状況が続いている。国内では排他主義的なポピュリズムが伸張り、ネットやSNSだけでは無く、国政レベルでの発信も増えた。ほとんどがフェイクや煽動であるが、経済や社会不安が発する閉塞感もあり、影響範囲は拡大しているようにも見える。もともと海の向こうでは大統領自らが同様の事をしており、国内ポピュリズムの後押しになっていて世界へも影響は大きい。国内不安の目をそらす手段としてポピュリズムが使われてきたのは歴史が証明しているが、21世紀になっても変わらないうところか、通信手段の進歩により伝達が秒単位になった分熟考する時間を奪うため、より危険な状況だと思ふ。これらはトランプ大統領を選出したように、民主主義的決定プロセスを経てくるため独裁などより厄介なものとなる。私たちが出来る事は情報に踊らされず、軽率に走らず、一つ一つよく見て、考えて行動する事で明るい話題を取り上げられる社会にしていきたい。